

1. 件名：新型転換炉原型炉ふげんの使用済燃料の搬出計画に係る面談
2. 日時：令和5年5月31日（水）13時15分～13時35分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
審査グループ 研究炉等審査部門  
菅生主任安全審査官、上野管理官補佐、大島原子力規制専門員  
文部科学省  
原子力課  
横井原子力研究開発調査官  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
敦賀廃止措置実証本部 副本部長 他 1名
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料  
資料1 「ふげん」の使用済燃料の搬出計画について

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子力規制庁の嶋でございます。そうしましたら、ただいまより、新型転換炉原型炉ふげんの廃止措置に関する面談の方始めさせていただきます。
0:00:14	では機構の方からご説明の方お願いいたしますはい。原子力機構、敦賀廃止措置実証本部の竹内でございます。
0:00:23	今日は分の使用済み燃料の搬出計画についてということでご説明に参りました。
0:00:29	お時間をとっていただきありがとうございます。
0:00:32	早速ですが資料に付が基づきましてご説明させていただきたいと思っております。
0:00:39	ふげんの使用済み燃料のフランスへの搬出でございますが、その計画につきましては、
0:00:48	搬出開始時期を、令和5年度、2023年度、それから完了時期を令和8年、2026年の夏ごろまでとし、
0:00:59	原子力機構等、仏国の事業者の間で、準備を進めてきたわけでございます。
0:01:08	輸送でございますので、使用する輸送容器がございます。これにつきましては現在、普通フランスの事業者です。製造中でございます。
0:01:20	そういう状況の中であって作る、製造するためにですね、調達した材料がありますが、その特性を確認してきたわけでございますが、
0:01:37	令和4年の2022年でございますが、7月にですね、輸送用キーのその構成部品の一部寸法を、
0:01:49	変更するという必要があるとの報告がフランスの事業者からございました。
0:01:57	この形報告を踏まえましてですね当初の計画、さっき申し上げた計画を遵守できるように、
0:02:05	フランスの事業者とですね。
0:02:07	協議を重ねてきたわけでございますが、
0:02:11	これまでの協議の状況を踏まえるとですね、廃止措置計画を見直す必要があると考えているというところに至ったわけでございます。
0:02:24	このためですね現在必要な許認可手続きに向けた対応と、可能な限りですね、
0:02:32	早期の実施を目指して、搬出の計画の見直しをフランスの事業者と協議検討中ということでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:44	現在は検討中でございますが、この搬出計画の見直し案につきましてはですね、遅くともですね、年内には取りまとめたいと考えているところでございます。
0:03:01	今回のふげんの使用済み燃料の搬出計画の見直しでございますが、それに伴って、廃止措置計画全体への影響ということでございますが、
0:03:14	それについては下のところ影響はなく、
0:03:17	廃止措置の完了時期では22年、遠藤大浜2040年度でございますが、それについても変更はないという状況になっております。
0:03:31	こういう状況にありまして今年の3月28日にですね、規制庁さんと面談させていただきまして、
0:03:43	ふげんの使用済み燃料を搬出して、再処理し、それから抽出したプルトニウム、核燃料物質につきましては、
0:03:56	海外に移転するという事をご説明しそれに伴って、ふげんの設置許可の変更申請をさせていただきたいということ、
0:04:11	戸田で申し上げましたが、具体的にいつということについては、この当時は設定しておりませんが、今回、7月頃にですね、
0:04:24	末ぐらいになると思うんですけども、申請させていただきたいと考えているところでございます。
0:04:34	今後ですねアースクウェイクの見直しとそれから
0:04:38	初期許可変更申請、早期に対応する、審査ということになって参りますけれども、
0:04:51	一つは少しですね、
0:04:56	ご理解いただいた上で、しっかり対応していただき、いきたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思っております。
0:05:04	土岐古川の説明は以上でございます。
0:05:09	規制庁の大島血清はご説明どうもありがとうございました。ただいまの説明に対しまして、規制庁の方から確認事項コメント等ありましたらお願いいたします。
0:05:26	A 規制庁は、すみませんボックス、
0:05:30	いいですか。規制庁のスゴウです。ちょっとあれ。
0:05:35	スゴウの2点ほど、今ご説明いただいた中で確認したいのは結局当初を当初というか3月の面談で7月頃に、
0:05:48	なんですか、へ設置変更許可申請をされようとしてたと思うんですけど、そこについては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:58	この今回の搬出計画の変更は関係なく、予定通りされるという理解でよろしいですか。はい。そういうふうに理解していただきたいと思っております。
0:06:10	搬出の計画自体がまだ未定という状況ではございますが、抽出された核燃料物質について、海外に移転するということにつきましては、これは変わることがな。
0:06:27	稲井伊井で予定通りやらせていただきたいと考えております。
0:06:34	規制庁のスゴウですありがとうございます。逆になんか文、これちょっとこの話を事前に伺ってそこを変更しようとしてるのかなってちょっと思ったりもしたんで、
0:06:47	あの時期は肝は関係ないよなと思ったんで予定通りということであればあんま安心というわけじゃないけど承知しました。でももう一つちょっと事実。
0:06:57	確認したいのが、その材料特性を確認した結果として、輸送容器の寸法を変更するという事なんですけれども、何か普通であれば設計した材料を設計する際に、
0:07:17	材料も含めて設計してそれに合わせて、当然寸法とかも、
0:07:23	決まってくると思うんですけど、何かその材料に合わせて設計を変更するっていうのがちょっとよくわかんなかったんですけども、その事実関係を教えてもらってもいいですか。
0:07:38	そのことにつきましては、今日はちょっともう強い情報を私どもの持っておりませんので、また別途ご説明させていただきたいと思っております。
0:07:52	申し訳ありません。
0:07:54	規制庁の宗ではわかりましたまた何かあれですね、いずれにしても搬出計画の見直しとか、
0:08:05	もされるんでしょうからその際とかになつたのかもしれないですけど教えてもらえればと思いますのでよろしく申し上げます。
0:08:13	承知いたしました。
0:08:18	規制等のオオシマです。私からもちょっと事実確認をさせていただきたいんですけども、
0:08:24	当然初期燃料の搬出については廃止措置計画の中で、米どころ記載がされておるということで、やはりそちらにも、
0:08:35	影響が出てくるという理解でまずはよろしいでしょうか。廃止措置計画には、燃料の搬出に関しましては、2026年、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:46	までに終わらせると記載されておまして、
0:08:51	会社がいつかという記載はございません。
0:08:55	現状では、廃止措置計画違います。搬出計画の変更するという状況にあっても、記載上は、直接それと層が生じるわけではありませんので、
0:09:12	そういう手続きが必要だと考えています。ただ、
0:09:16	新しい8措置、輸送計画が今年の年内に入ってたときに、
0:09:28	現状の廃止措置計画の記載と層が生じるということであれば、適切に修正したいと考えております。
0:09:38	規制庁の嶋でございます。
0:09:41	現場の
0:09:42	搬出回避については、記載がされていなくて、いつまでに終わりますよというところが今謳われていないと、今回少しこう、
0:09:54	後直しに郵送自体が後ろ倒しになると、それに伴って、終了時期が落ち後ろ倒しになって、そこで勝負が生じれば、計画の変更が必要だと、そういう認識でよろしいでしょうか。
0:10:10	将来的にそうなればという話でございます。
0:10:14	いたしました。
0:10:16	それからですね一応年内までにですねある程度見通しを立てて、影響があるのかどうか、判断されるということですのでけれども、
0:10:27	ちょっとそういったスケジュールで年内にはある程度、今後の見通しが立てられる想定をされているということですのでよろしいのでしょうか。それはいろいろな
0:10:38	検討説明しなければならないことがございますので、時間を要すると思いますが、目標といたしましては、年内には新しい
0:10:54	搬出計画の見直し案を出したいなと考えているところでございます。
0:11:00	支店長の嶋でございます。承知いたしました。
0:11:05	はい。
0:11:06	当間多田その確度のある、見通しっていうのも一つ重要になってくるかなと思いますので、そこは本当バースを進め、
0:11:16	が必要かなと思います。わかりました。はい。よろしくお願いいたします。
0:11:29	すみませんまたちょっと少しずれてしまうんですけど、3月にですね、あ、失礼しました。4月ですかね、日M e n d o z a せていただいた資料をちょっと今見ておまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:41	来年の2月ごろですかね。敗訴ちい。
0:11:48	計画の変更認可申請も予定されていると。
0:11:52	行く時、伺っておりますけれども特にこちらの予定にはないということですね。わかりました。
0:12:06	ここに合わせて何でしょう。
0:12:09	はい措置の訴訟済み燃料の、
0:12:11	計画部分の入れ子。
0:12:15	具体品を見通しますですかね。そこはちょっとまだ
0:12:21	会社人員、搬出計画の方がまだ見直されたものが来てないので、
0:12:26	そこに入れ込めるかどうかというのは、ちょっとまだ見えない。
0:12:33	承知いたしました。
0:12:50	すみません規制庁嶋です。全体は全体のですね廃止措置完了時期には影響がないということですのでけれども、
0:13:04	当然その中の燃料が話聞かなければ、その建屋の改定っていうのももちろんできないかなと思うんですが、少しく延びてしまっても、全体に影響はないという、
0:13:19	ことについては、ここ角度のある見通しなんでしょうか。現状でお考えるところであれば、
0:13:31	2040年度に影響を与えるものということではないと考えております。
0:13:39	これもですね最終的にこの確実ということであればですね新しい輸送の計画、それを見た上で、もう1回考える必要があるかと思っております。
0:13:54	料シマです。はい。内容について承知いたしました。
0:14:15	他の局長の方から、
0:14:18	何かございませんでしょうか。
0:14:28	よろしいですかね。
0:14:31	文科省さんから何か補足等あればお願いいたします。
0:14:41	はい。文科省の横井です。はい。今日こういった面談の機会をいただきましてありがとうございます。あと冒頭にですね武内副本部長からご説明ありました通り、先週の金曜日に、
0:14:55	開いてもんじゅの連絡協議会という場ですね、このふげんの話について、文科省の方から報告をさせていただきました。報告させていただいた内容は本日の冒頭にタケウチの方から説明がありました内容これがもうほぼすべてでありまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:15	今日いろいろご質問いただきましたけれども、現時点では起工後フランスの事業者において、絶賛搬出計画、どういうふうにしていくのかというところを、今見直しをしている最中ということもあまして、
0:15:32	現時点でいつごろかという見通しであるとか、そういったところは、現状持ち合わせていないというのが現状であります。
0:15:41	しかしながらこの状況をですれずつと続けていてもよろしくありませんので、先日の段階ですれ、1度こういった見直しをしているんだということについてご報告を申し上げて、
0:15:55	その見直し案については、今年の年末までにはお示しをしますというそういったところをご報告させていただいた次第です。そういった意味で現時点ではですれなかなか具体的なプランができていない中で、
0:16:11	ご説明できないことは非常に多くて、本当に申し訳ありません。
0:16:16	引き続きですれ、事業者間で検討今進めておりますので、こちらの文科省としてもですれその状況を適宜確認させていただいて、適時ですれ、こういった場でも、状況はできる限りご説明をして、
0:16:31	今後のですれこの廃止措置計画の見直しであるとか、ベータ許認可関係にですれ、問題は支障がないように、きちんと対応していきたいというふうに思いますので、
0:16:43	また引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。本課長から以上です。
0:16:49	規制庁の嶋です。はい。ありがとうございます。趣旨については、理解いたしました。
0:16:58	規制庁のスゴウですすみません横井さんありがとうございます。なかなか
0:17:06	これからっていうところで本日ご説明できる内容もそのアウトラインに限ってしまってるって話かと思えますけど、今後
0:17:18	計画とかを
0:17:22	策定していく中でまたその計画が変わったりするとこのニュースとかでもですれ、地元の方からの不信感みたいなもの。
0:17:35	が何かあったってというようなものがありますので、ちょっと計画策定する際には、しっかりとちょっと見ていただいて、作っていただければと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。
0:17:53	はい。牟田翔吾です。ご指摘ありがとうございます。ご指摘いただいた通りですれ、非常にこの輸送計画自体がですれ、非常に許認可の手続きしたり、あと実際には船で運ぶ事になりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:09	船の調達、あと港の確保ですね、あと多国間を会場で運びますので、その了承の手続きであるとかですね。
0:18:21	非常に手続きが多岐に渡る計画でございます。そういった意味でこういったところを、も含めて、あと今回この輸送容器の一部の、
0:18:32	寸法を変更するというそういった事象を、ありますので、そういったことをですね、すべて少し保守的に考えた上でですね、
0:18:42	たびたび搬出計画が見直しをされていくというのも、これちょっと地元に対してもですね非常に不信感と、ご心配をおかけするということにもなりますので、
0:18:53	そういったことにならないように、今局長でございますね、いろいろな洗い出しを行っている最中でございます。そういった意味で、一応年内ということ考えておりますけれども、
0:19:07	かぎりですね、そういったことがないように、現状で考えられる課題についてはそこで潰してですね、お示しできるような形で持っていきたいというふうに思っております。引き続きよろしくお願いいたします。ありがとうございます。
0:19:26	はい。規制庁の大嶋でございます。はい。そうしましたら本日も説明いただいた内容につきましては、この値がいずれ年内めどにですねご説明いただけるということで承知いたしましたけれども、
0:19:42	こちらからも何か確認させていただきたいことがありましたらちょっと面談等でまたお話をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。よろしくお願いいたします。
0:19:53	それでは全体を通して、
0:19:56	何か確認しておきたいことは特にないでしょうか。よろしいですかね。 はい。そうしましたら本日の面談をこれで終了いたします。本日はありがとうございます。ありがとうございました。ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。